



ア カップ オブ ウォーター

## a cup of water ニュースレター

私達はキリスト教精神に基づき、世界の困難な状況にある子ども達を支援する NPO です。

NO. 3 2009年9月

タイ・カンボジアの孤児院 ハッピーホームの子ども達をご支援下さり、心から感謝します。

### ～ご報告～ カンボジアのハッピーホームから

2009年8月12日～16日までカンボジア、ポイペトにある孤児院、ハッピーホームを訪問しました。元気な子ども達の笑顔に出会い、また支援がどのように役立てられ、カンボジアの子ども達の日々に変化がもたらされているかを見ることができました。

### ポイペトの町



タイ・バンコクから東へ車でわずか3時間走るとカンボジアとの国境に到着します。カンボジアのハッピーホームはこの混沌とした国境地帯、ポイペトという小さな町にあります。国境にあるカジノ施設周辺とメインストリート以外、道路は舗装されていません。

国内で数百万人が虐殺されたポルポト時代のあとも、ポイペトは内戦の激戦地となりました。主だった産業はカジノ産業とそれに伴うホテル業以外にありません。多くの人々がタイから野菜・果物などの食料品、生活物資を運び、一日1ドル～2ドルの稼ぎで生計を立てています。炎天下、たくさんの物資をのせたカートを手で押す男性だけでなく、女性も砂埃にまみれながら引いて運んでいます。その状況の厳しさを思うと圧倒されてしまいそうになりました。

カンボジアへの入管には、人身売買を禁止する警告と「カンボジアの子ども達を尊重してください」というメッセージが日本語を含め様々な言語で書かれていました。ポイペトという場所が子ども達にとって、どれほど危険な場所かが想像されます。孤児となった子ども達が、ハッピーホームという安全な場所に守られていることは本当に大切なことなのです。

## ハッピーホーム・ポイペト

ハッピーホームはメインストリートから少し奥に入った静かな場所にあり、2才～15才までの32人の子ども達が生活しています。カナダ人のスタッフ、パティさんと子どものお世話をする4人のスタッフ、そして1人の料理係の方がいます。ポイペトのハッピーホームは2006年に開設され、タイのホームと比べるとまだ始まったばかりのホームです。



子ども達は朝、小さなトラックにみんなで乗りこみ、小学校に向かいます。授業は午前中で終わり、お昼にはハッピーホームに戻ります。そしてハッピーホームで英語、音楽、工作などの学習をしていました。事情により、幼いころに学校に通えなかった子ども達もいるので、年齢にかかわらず、学年はまちまちですが、それぞれが一生懸命に頑張っていました。

また少ないスタッフで子どもの世話をしているため、大きい子どもは小さな子どものお世話をしており、大きな家族のような雰囲気があります。広々とした敷地内で走りまわって遊ぶこともでき、子ども達は伸び伸びと、そして大切に育てられていました。子ども達は朝には聖書をみんなで読み、日曜日には地域の教会に通っています。

## スラムの幼稚園

ハッピーホームから少し離れたところに大きなスラムがあります。道がぬかるんでいるため、長靴をかりなければ、いけませでした。コミュニティを訪問してすぐに、ハンモックに寝かされた赤ちゃんとお母さんに会いました。厳しい環境の中でも、笑顔を忘れずに生活している人達がいいます。



このスラムの中に子ども達のための幼稚園があります。午前に60人、午後60人で合計120人の子ども達がこの幼稚園に通っています。コンクリートの建物ではなく、壁も屋根も木や植物で作られた教室ですが、子ども達に安全な場所と教育の貴重な機会を提供しています。

日中、両親が荷物を運ぶ仕事に出てしまうと、子ども達を面倒みる人がおらず、時には路上に放り出されてしまう子ども達は、様々な危険にさらされます。この幼稚園はその様な危険から子どもを守っているのです。

子ども達は聖書のお話を聞き、神様が一人一人を愛してくださっている希望のメッセージがここにも届けられていました。

### ハッピーホームの子ども達が通う学校



ハッピーホームの子ども達の多くが学んでいる小学校を訪問しました。

ポルポト政権化で多くの教師が殺されたため、カンボジアでは先生の数が不足しています。カンボジアではそのため、午前と午後の2回、入れ替え制で授業が行われています。

この小学校でも3000人の生徒が勉強しています。5階だての建物にぎっしりと教室がならんでいました。1クラス40人の教室では、クメール語や英語、算数、コンピューターの授業が行われていました。

この学校の授業料は年間約600円です。学校の経営は厳しいけれど、安い授業料で多くの子ども達により教育を提供したいと学校の経営者の方が熱く語ってくださいました。

## ホープセンター



ポイペトの中心部からでこぼこ道を車で30分ぐらい走ったところに、ホープセンターがあります。はるか遠方にはまだ地雷が残っているという土地が広がっていました。

ここは HIV に感染している人のための家です。数家族が木と植物でできた伝統的な高床の家で生活しています。また小さな幼稚園が併設しており、子ども達が文字の読み書きを勉強していました。

一人の HIV に感染した女性に出会いました。治療を受けながら、センターの管理を任されています。数か月前に神様を信じたというこの女性は、困難な状況にあるとは思えないくらい、穏やかで優しい笑顔の方でした。

スラムにある幼稚園とこのホープセンターは、カナダ人のスタッフ、ブランドンさんが運営を担当しています。ホープセンターでは、ここに住む女性達の生計を助けるため、女性達が編んだ帽子の販売を考えていると話していました。軌道に乗り始めたら、是非日本で販売に協力してほしいとのことでした。

### ローズさん （上の写真の右側の女性）

ハッピーホームを創設されたアメリカ人宣教師のローズさんは、パワフルで、とても心優しい方でした。タイとカンボジアの子ども達と人々を心から愛されていることが伝わってきました。タイのチェンライにあるハッピーホームを拠点に、タイの4ヶ所のハッピーホームとカンボジアのハッピーホームの全体を取りまとめています。それぞれのホームを訪ねては、スタッフを励まし、アドバイスを与え、問題があれば対処されます。a cup of water の会員の方々、協力者の皆様のお祈りとご支援に感謝しますとメッセージをいただきました。

### 特定非営利活動法人 a cup of water

TEL & FAX 075-962-4249 メールアドレス newlife@ht.holy.jp

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井4丁目23-24 ニューライフキリスト教会内

ホームページ <http://newlife.holy.jp/acupofwater/index.html>

会費・寄付金など 郵便振替 00950-8-107412

三井住友銀行 高槻支店 普通2680218

☆会員になって下さる方を募集しています。月々のご支援は1口¥1500～

連絡先をFAXかメールにてご連絡くだされば、こちらから詳しい資料をお送りします。